

第104回 理事会（平成18年度第3回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成18年6月24日（土）15：00～17：35
2. 場 所： 順海閣本館（横浜市中区山下町147）
3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄、山田 隆、八尾 勉
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、木村 徳善、菊地 富士夫
（理事）徳本 進、川田 光代、吉野 大成、荻野 恭宏、藤田 浩介、
金子 理人、国島 みどり、岡本 洋一、百海 廷、小池 光、
森本 珠水、平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私
欠席理事：（会長）河野 洋平
（理事）清水 忠、平賀 淳夫
4. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 百海 廷理事、吉岡 去私理事を選出
7. 書記： 守谷 紀幸広報委員を指名
8. 議 事

開 会 八尾副会長から開会の挨拶を述べた。

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

- ① 菊地本部長より、県体協のジュニアモデル事業について、5月28日に保護者面接を行い、明日（25日）は栄養相談とメンタルトレーニングを実施することになっており、きわめて順調な事業経過で推移しているとの報告があり、了承された。

(2) 審議事項

- ① 菊地本部長より、評議員会資料に掲載する「競技本部事業報告」について提案があり、また、S A J専門委員候補者については、教育・総務本部の専門委員と一括提案され、両案とも承認された。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

- ① 木村本部長より、下記行事（別紙配付資料）に関する報告があり、了承された。

イ) 教育拡大会議

期日：5月27日（土）14：00～ 横浜市従会館

出席者：43名

ロ) 第1回教育部会

期日：6月2日（金）19：00～ 県連事務所

出席者：8名

ハ) 第2回教育部会

期日：6月17日（土）13：30～ 県民センター11F

出席者：6名

二) 第3回教育部会

期日：6月22日（木）19：00～ 県連事務所

出席者：7名

ホ) 強化行事Ⅰ オフトレーニング（A）開催日程（予定）

- ・第1回 7月8日（土）10：00～ 昭和電工（株）体育館
- ・第2回 7月15日（土）10：00～ 昭和電工（株）体育館

（2）審議事項

①事業計画の変更について

木村本部長より、次の2事業について計画の変更提案がなされ、やむを得ない変更の理由があり、予算内の変更にとどまるので、承認された。

1. ガーラ湯沢行事を1週間前倒しして1月26日～28日の開催とする。
2. 車山V行事の会場を車山とガーラ湯沢に分割して開催する。

②SAJ専門委員の推薦について

木村本部長より、南関東ブロックの推薦締め切りが6月22日のため別紙案により推薦したいとの提案あり、同じく競技本部菊地本部長、総務本部上田本部長から各専門委員の推薦について提案がなされ、一括議題として審議し、木村監事から川田理事が「阿久津」姓で記載されているが「川田」に統一すべきとの指摘があり、今後はそうすることで、承認された。

③SAJブロック技術員の推薦について

木村本部長より、別紙案のとおり提案がなされ、承認された。

④SAK専門委員について

木村本部長より、各市協からの推薦締め切りが6月30日だが、次回理事会の承認では7月末になってしまうので、委員の承認については7月5日の教育部会に一任願いたいとの提案があり、総務・競技本部も含め、専務・常務理事出席の各部会に一任することで承認された。

⑤SAK指定選手の選考方法及び指定について

木村本部長より、別紙案のとおり36名の提案がなされ、承認された。

⑥行事予算の変更について

木村本部長より、技術選手権の予算を昨年度実績を大幅に下回って計上してしまったので、実績に見合った金額に修正したいとの提案がなされ、現時点では予算の組み直しは不可能であり、予備費の充当可能範囲の30万円を補正予算として同事業に充当し、それに見合った形で支出を削減して事業執行を行うことで承認された。

3) 総務本部関係

（1）報告事項

①慶弔関係

徳本理事より、前理事栗田謙悟氏の逝去に伴う生花、香典、弔電にかかる支出があった旨報告があり、了承された。

②資金運用状況

藤田理事より、5月末現預金残高5,153,900円で前年同期に比して、80万円余の減少である旨報告があり、決算状況の詳細は、審議事項で審議した。

③登録状況

荻野理事より、5月末日の登録手続き状況は、一般5,613名、総数6,182名と昨年同期を210名下回るとの報告があり、了承された。

④各種委員会

次の各理事から報告があり、了承された。

イ) 電子申込委員会（徳本理事）

6月11日に打合せを開催、団体申し込みも受け付けできるための検討に入る。

ロ) ウェア委員会 (川田理事)

競技・教育本部から各1名の委員を推薦願いたい。今年度は、グッズ中心となる。

ハ) 普及振興委員会 (吉野理事)

行事を年間2回に増やし、夏季行事を検討している。7月初めに委員会開催予定。

二) 協賛会員拡大委員会 (川田理事)

予算額490万円、各本部25万円目途にがんばって欲しい。

ホ) 個人情報保護委員会 (徳本理事)

各本部の運用状況を監査する企画を持ちたい。監事の協力もお願いしたい。

ヘ) HIC委員会 (国島理事)

専門委員の推薦が終わってから委員会を立ち上げる。例年のとおり、賛助会員への協力方よろしく願いたい。

ト) 広報委員会 (金子理事)

7月5日(水)に第1回委員会を開催し、SAKだより第52号の編集等の検討予定である。

チ) 規約・規程委員会 (徳本理事)

本日規約・規程集を配付したので、内容を精査願いたい。現状と合わない部分については、今後も改正等是正措置をお願いしたい。

リ) 財務委員会 (藤田理事)

会計事務規程の見直し、監査規程及び基金取り崩しに関する規程の制定検討、基本財産運用の検討に取り組んで行きたい。

⑤その他(事務局報告事項)

次の事項について徳本事務局長より報告があり、了承された。

イ) 顧問・参与・協会代表者会議

本日18:00から当館『順海閣3階』において開催します。

ロ) 車山スキースクール・藤原校長見舞金について

別紙資料のとおり、228,000円の寄附が寄せられたので、早急に送金する。

ハ) 事務手続きについて

理事の辞任届・個人データ調査票の提出依頼があり、了承された。

二) SAKツール作成日程について

7月29日の夏季評議員会に向けて、資料作成日程の説明をされた。

⑥SAJ評議員会について

SAJ評議員会報告に先立って、野地副会長より、臨時常務会の開催について、次のとおり報告があった。

6月16日(金)SAJの役員選出において、本連盟の山田副会長の推薦について、SAJ内部でいろいろな意見があり、池上SAJ総務本部長から、本件の対応について当連盟に一任するとの話があったことを受け、臨時の常務会を開催した。SAJ内部の意見というものは真偽のほどが分からない噂の段階の情報に基づくものであり、山田氏を候補として推薦していくことを全員一致で決定した。決定内容を池上SAJ総務本部長あてFAX送信し、評議員会での審議を依頼した。

片専務理事より、本日開催されたSAJ評議員会では、役員選出で、何の意見もなく山田隆氏の理事就任が決まったとの報告があった。

山田副会長より、『本日SAJの理事に就任した。誠心誠意がんばりたい。』と発言された。さらにSAJ理事会では、専務理事池上三紀、総務本部長村里敏彰、競技本部長笠谷幸生、教育本部長平川仁彦と決定した。理事の会長推薦枠にあと1名の空きがあり、スノーボードの担当者がいないことから、佐々木峻氏の起用もありうる情勢となっているが、次回の理事会までは動向は不明であり、私の所管については教育か総務の見込みとの報告があり、了承された。

(2) 審議事項

① 平成17年度事業報告について

片専務理事の事業報告及び各本部長より、別紙のとおり事業報告(案)が提案され、文章の一部を訂正することで、承認された。

イ) 平成17年度事業報告

ロ) 平成17年度総務本部報告

ハ) 平成17年度教育本部報告

ニ) 平成17年度競技本部報告

② 平成17年度決算報告について

岡本理事より、別添平成17年度決算報告(案)のとおり提案があり、結果として884,392円の赤字決算となったとの説明があった。

斎藤理事から、事業における収入は増減があるのは致し方ないが、支出はシビアに見積もり可能なので、判断が難しい面もあるが、マイナス要因は排除すべきとの意見があり、片専務理事から公益法人は収支均衡予算であるから、収入が減ったら支出も削減した運営が望まれていることを知って欲しいとの回答があった。山田副会長から、昨年度と今年度は積立金支出を切ったの赤字なので、実質200万円の収入減であり、謝金のカットや参加費の値上げなど抜本的な見直しを検討しないと財源が枯渇するとの発言があり、上田総務本部長から、新公益法人会計システムの導入で決算見込みについて細かい点まで厳しく見て行きたいとの回答があった。

片専務理事から、別途積立金について内部留保とみなされてはいけないので、取り崩しに関する規程を早急に制定する必要があるとの発言があり、財務委員会で検討することとなった。

平沢理事から、指導員育成事業が65万円の収入減に対し、130万円の支出増になっているとの指摘があり、片専務理事から他にハンディキャップの負担も大きいと、今後の理事会で個別に検討をお願いしていきたいとの発言があり、決算報告は承認された。

③ SAJ専門委員の推薦について(教育本部審議事項で一括審議済)

④ 事務局の8月中の休務日について

徳本事務局長より、7月22日、29日と8月中のすべての土曜日について、利用が非常に少ないことから休務日としたいとの提案がなされ、承認された。

⑤ 規程の制定について

徳本理事より、別紙資料のとおり、「全日本スキー技術選手権大会派遣選手選考規程」及び「SAK教育本部指定強化選手選考基準」の制定につき提案があったが、次回の理事会で審議することとした。

⑥ 議事録署名人について

徳本事務局長より、今期の議事録署名人について、本日選出の百海理事及び吉岡理事を選任したいとの提案がなされ、承認された。

⑦ 事務局職員の賃金及び賞与について

上田総務本部長より、今年度の事務局職員の賃金及び賞与について、従来どおりの1時間1,020円及び10万円としたいとの提案がなされ、承認された。

4) 平成17年度監査報告

(1) 平成17年度監査報告について

木村監事より、決算報告書が出来上がっていなかったため、監査報告書は後日になる。監査会で感じたことは、各事業報告が遅いので、プレ監査も1回しか実施できなかった。また、報告書の内容が分かりにくいものがあり、特に複数事業の合同開催では事業が複雑になってしまっている。これについては、スリム化の提案があり、片専務理事から、監査報告で指摘された事項は100%実行して欲しい。特に、複数事業の合同開催については、報告書の作成は十分注意してほしいとの答弁がなされた。

5) セミナー理事会

(1) 公益法人及び予算案概要について

上田本部長より、別紙資料「公益法人について」(全12ページ)をもとに公益法人とは何か、予算の立案概要を理解していただくために『セミナー理事会』を開催した。理事8名、監事1名が新しく就任し、公益法人の定義・設立・会計基準等をより理解していただくためであり、理事として知っておくべきことをまとめているので、パワーポイントで説明された。さらに熟読していただき、より理解を深めることの要望がなされた。

(2) 会計処理の仕方について

岡本理事より、別紙資料「SAK会計について」(全15ページ)をもとに会計処理業務を理解していただくために『セミナー理事会』で説明された。前年度の行事事務報告に対し、提出が遅く修正が多すぎましたので、改めて会計業務を理解していただくためであります。内容については割愛させていただくが、理事として知っておくべきことをまとめている。本日出席された理事は理解されたと思われます。さらに今年度は、月例で会計報告書チェックを、監事さんの協力をいただき翌月中旬頃を目処に月1回開催予定であります。

6) その他

(1) 片専務理事コメント

片専務理事より、2回目の理事会であるが、財団法人の理事として自覚を持ち、日頃の行動にも気を配ってほしい。それぞれ異なった環境から選出されてきているが、個々に持てる力を最大限に発揮して、連盟を共に発展させていって欲しいとの要望があった。

(2) 野地副会長コメント

野地副会長より、財政上の問題点が明らかになってきたが、各事業ともバランスのとれた運営をお願いしたい。本日の理事会前のセミナーで学んだことを活かして、今後の理事会で積極的に発言していくなど力を発揮して欲しいとの要望があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成18年 7月 4日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印